

2 0 2 4 年 度

政治経済学部専門演習要項

明 治 大 学

「専門演習」のすすめ

—仲間と共に学び合う中で社会を生き抜く力、「人間力」を養おう—

政治経済学部長 藤 永 修 一

政治経済学部では、「専門演習」として、「政治学・社会学」「経済学」「地域行政学」「国際地域・文化論」の4つのコースに多彩なゼミナールを設置しています。現在、専門演習には3・4年生の8割以上の学生が参加しています。

ゼミは学生が主体となって学んでいく場です。専門演習ではプレゼンテーション、ディスカッションや論文の執筆などを通じて、ゼミの研究テーマや各自の研究テーマに沿った形で双方向型の授業が行われます。ゼミでは研究テーマに深く踏み込んでいくため、講義に比べより専門的になります。そして、そこで得たより専門的で高次の研究成果を発表する場として、政治経済学部では「ゼミナール発表会」や共同論文集『政経セミナー』を用意しています。

次に、ゼミに所属するメリットですが、たとえば、資料や論文の作成を通じて、論理構成力、文章の書き方や統計ソフトなどの使い方を学んでいくことができます。また、研究発表や討論会を通して、プレゼンテーション力やコミュニケーション力を向上することもできます。ゼミに入ると、授業だけでなくゼミ合宿やゼミの懇親会などゼミの仲間と行動を共にすることが増えていきます。ゼミの仲間と共に過ごした時間、そして何よりもゼミの仲間は一生の宝物となるでしょう。さらに、先輩や後輩、卒業生との繋がりも得られ、ゼミに所属することは大学時代だけでなく卒業後の人生にも役立てることがあります。

最後に、ゼミを選ぶ上で気をつけるべき重要なポイントについてお話します。まず、ゼミの研究テーマに興味を持つことができるかということです。そして、人気ゼミや有名ゼミという理由だけで選ぶのではなく、自分に合っているゼミを選ぶことです。そのためにも、この『政治経済学部専門演習要項』を紐解くことから始めてください。ここには、ゼミナールの研究テーマ、研究内容、具体的な卒業論文例などが掲載されています。きっと皆さんが興味を示すゼミがいくつか見つかるはずです。そして、時間が許す限り、オープンゼミや個別ガイダンスに参加し、そのゼミの雰囲気味わってみてください。ゼミに所属している先輩に質問を投げかけるなどして、この『演習要項』では見えにくい部分についても、先輩の生の声を聞くことをおすすめします。もちろん、サークルなどの先輩や同級生などからゼミについての情報も入手することも忘れずに。

普段の講義では味わうことのできない魅力が、「専門演習卒業生」にはあります。ゼミの場は、いわば社会の縮図であり、仲間と共に学び合う中で、そうした社会を生き抜く力、「人間力」が養われます。「大学4年間で何か一生懸命に取り組んだことがありますか」と聞かれたら、「ゼミでの取り組みです」と答える学生が一人でも多くいることを期待して、筆を擱きます。

ゼミ指導型コース制について

1 専門演習（卒業論文）と科目パッケージ

政治経済学部では、3・4年次に配当される応用科目の選択の目安として4つのコースを設け、さらにそれを区分した科目パッケージを配置している。この科目パッケージは一つの履修モデルともなっている。専門演習（卒業論文）では演習担当教員の指導に基づいて、学生自身の研究テーマにふさわしい科目パッケージ・科目を選択し、卒業論文作成をゴールとした体系的な学習を行う。専門演習履修者はコース選択をする必要はない。

2 専門演習非履修者のためのコース制度

専門演習を履修しない場合は、応用科目を分類した、以下のいずれかのコースを選択しなければならない。選択したコースの科目を20単位以上修得することが、卒業要件となる。

- 【A 政治学・社会学コース】 【B 経済学コース】
 【C 地域行政学コース】 【D 国際地域・文化論コース】

3 ゼミナール入室者の専門演習（卒業論文）の取り扱いについて

ゼミナールに所属している学生は、専門演習（卒業論文）は必須科目である。途中退室を希望する場合は、「ゼミナール退室およびコース登録願」を提出し、上記2にあるコースのうち1つを選択し登録した上で、そのコースが定める科目を20単位以上修得しなければならない。

コース別応用科目

A 政治学・社会学コース	B 経済学コース	C 地域行政学コース	D 国際地域・文化論コース
a 政治理論系パッケージ	d 国際経済系パッケージ	g 公行政系パッケージ	j 日本・アジア文化系パッケージ
自治体経営論、国家論、現代国家分析、都市政策、都市行政、政治過程論、政治体制論、政治体制変動論、比較政治論、比較政治論（東アジア）、計量政治学、政治行動論、公共政策学	国際経済学、経済地理学、開発経済学、国際経済政策、国際金融論、日本・アジア地域論 A～D、日本アジア文化論 A～D、ヨーロッパ地域論 A～E、ヨーロッパ文化論 A～E、アメリカ地域論 A～D、アメリカ文化論 A～D、連環地域文化論 A～D	自治体経営論、行政法、地域行政学、行政情報論、公共政策学、公会計学、都市政策、都市行政、地方財政論、社会保障論、地域開発論、環境経済学、地域政策論 A～J、身体文化論、スポーツ文化論	日本・アジア地域論 A～D、日本アジア文化論 A～D、連環地域文化論 A～D、身体文化論、スポーツ文化論、表象文化論、比較政治論（東アジア）、アジア政治論、民俗学 A、民俗学 B、社会人類学 A、社会人類学 B、異文化ビジネス論概論、実践異文化ビジネス論
b 国際政治系パッケージ	e 財政・金融系パッケージ	h 地域コミュニティ系パッケージ	k ヨーロッパ文化系パッケージ
国際政治学、国際関係史、アジア政治論、アメリカ政治論、ラテンアメリカ政治論、アフリカ政治論、ロシア政治論、東欧政治論、国際法 A、国際法 B、比較政治論、比較政治論（東アジア）、日本・アジア地域論 A～D、日本アジア文化論 A～D、ヨーロッパ地域論 A～E、ヨーロッパ文化論 A～E、アメリカ地域論 A～D、アメリカ文化論 A～D、連環地域文化論 A～D	現代日本経済論、金融論、金融政策、地方財政論、財政政策、財政学、国際金融論	社会福祉政策論、コミュニティ福祉論、地域開発論、地域情報論、環境経済学、地域政策論 A～J、身体文化論、スポーツ文化論	ヨーロッパ地域論 A～E、ヨーロッパ文化論 A～E、連環地域文化論 A～D、身体文化論、スポーツ文化論、表象文化論、国際政治学、国際関係史、アフリカ政治論、ロシア政治論、東欧政治論、比較政治論、国際経済学、異文化ビジネス論概論、実践異文化ビジネス論
c 社会学系パッケージ	f 総合経済政策系パッケージ	i 産業社会系パッケージ	l アメリカ文化系パッケージ
現代社会学 A、現代社会学 B、現代社会心理学 A、現代社会心理学 B、産業心理学、消費心理学、社会調査法、フィールドワーク論、比較社会学、民俗学 A、民俗学 B、社会人類学 A、社会人類学 B、地域情報論	現代経済政策、食料経済学、環境経済学、産業組織論、中小企業論、地域産業論、人口学、労働経済学、社会保障論、協同組合学、地域開発論、地域振興論	地域産業論、中小企業論、協同組合学、食料経済学、異文化ビジネス論概論、実践異文化ビジネス論、労働経済学、地域振興論、地域政策論 A～J	アメリカ地域論 A～D、アメリカ文化論 A～D、連環地域文化論 A～D、身体文化論、スポーツ文化論、表象文化論、国際政治学、アメリカ政治論、ラテンアメリカ政治論、比較政治論、国際経済学、異文化ビジネス論概論、実践異文化ビジネス論

《ゼミナール入室試験要領》

1. 受験資格者 政治経済学部 2年次在籍生
2. ゼミナール選定 ゼミナールに入室を希望するものは、当専門演習要項、総合ガイダンス、個別ガイダンス、オープンゼミナール等を参考にし、慎重に選定すること。
3. 入室試験日程
 - (1) 総合ガイダンス
 - ・日 時 10月5日(木) Oh-o!Meiji グループに資料掲載
 - ・公開期間 10月5日(木)～12月15日(金)
 - (2) 個別ガイダンス
 - ・対面又はリアルタイム配信による実施
 - 日 時 10月12日(木)～10月18日(水) お昼休み
 - ・Oh-o!Meiji グループにオンデマンド型資料掲載
 - 公開期間 10月12日(木)～12月15日(金)
 - (3) オープンゼミナール
 - ・日 時 10月19日(木)～10月25日(水) 詳細は別途案内
 - (4) 受験申込手続
 - ・日 時 11月6日(月)～11月8日(水)
 - ・申込方法 Oh-o! Meiji アンケート
 - ・変更受付 11月13日(月)(Oh-o!Meiji アンケートにて受付)
 - ・注 意 受験の申し込みは、1人1ゼミナールに限る。
申込手続きは、Oh-o! Meiji アンケートより行う。
総合ガイダンスで申込についての詳細を案内する。
 - ・身上書受付 11月14日(火)～11月16日(木) 17:00
※原則、各ゼミナールに直接提出
 - (5) 入室試験 11月18日(土) 9:00～18:00 和泉キャンパスにて実施(対面試験の場合)
※実施方法・教室・時間割はゼミナールにより異なるため、
前日までに Oh-o!Meiji グループ上で発表する。
 - (6) 合格発表 11月18日(土)・11月20日(月)
 - (7) その他 ゼミナールに入室を許可された者(合格者)は、
3年次に履修登録を行わなければ、履修は認められない。
日程に変更がある場合は、Oh-o!Meiji グループ上で通知する。

目 次

見 方

政 経 太 郎 指導教員名	ゼミナール	〔政治学〕 ゼミナール名称
------------------	-------	------------------	-------

政治学関係

理論部門

外 池 力	ゼミナール	〔比較政治体制論〕	1
井 田 正 道	ゼミナール	〔計量政治学〕	2
西 川 伸 一	ゼミナール	〔国家論〕	3
伊 藤 剛	ゼミナール	〔国際政治学〕	4
野 澤 千 絵	ゼミナール	〔都市政策〕	5
西 村 弥	ゼミナール	〔行政学〕	6
牛 山 久仁彦	ゼミナール	〔地方自治〕	7
加 藤 言 人	ゼミナール	〔政治過程論〕	8

歴史・思想部門

重 田 園 江	ゼミナール	〔現代思想〕	9
高 山 裕 二	ゼミナール	〔政治理論史〕	10
小 西 徳 應	ゼミナール	〔日本政治史〕	11
相 原 耕 作	ゼミナール	〔日本政治思想史〕	12
川 嶋 周 一	ゼミナール	〔国際関係史〕	13
水戸部 由 枝	ゼミナール	〔西洋政治史〕	14

社会学関係

鍾 家 新	ゼミナール	〔社会学〕	15
加 藤 彰 彦	ゼミナール	〔比較社会学〕	16
樋 口 収	ゼミナール	〔社会心理学〕	17
荒 木 淳 子	ゼミナール	〔産業心理学〕	18
水 野 剛 也	ゼミナール	〔ジャーナリズム論〕	19

経済学関係

理論部門

浅井澄子	ゼミナール	〔産業組織論〕	20
高橋聡	ゼミナール	〔経済原論〕	21
武田巧	ゼミナール	〔応用マクロ・ミクロ経済学〕	22
平口良司	ゼミナール	〔経済成長論〕	23
八木尚志	ゼミナール	〔理論経済学〕	24
大森正之	ゼミナール	〔環境経済学〕	25
盛本圭一	ゼミナール	〔経済変動論〕	26
井上朋紀	ゼミナール	〔数理経済学〕	27
鎌田健司	ゼミナール	〔人口学〕	28
関根篤史	ゼミナール	〔統計学〕	29
星野泉	ゼミナール	〔財政学〕	30
倉地真太郎	ゼミナール	〔財政学〕	31
廣松悟	ゼミナール	〔経済地理学・地域開発論〕	32
大高研道	ゼミナール	〔協同組合学〕	33
小早川周司	ゼミナール	〔金融論〕	34
勝悦子	ゼミナール	〔国際金融論〕	35
森下正	ゼミナール	〔中小企業論〕	36
奥山雅之	ゼミナール	〔地域産業論〕	37

歴史・思想部門

高橋信勝	ゼミナール	〔経済学史〕	38
中島満大	ゼミナール	〔人口学・社会学〕	39
杉本隆司	ゼミナール	〔社会思想史〕	40
奥山誠	ゼミナール	〔経済思想〕	41
須藤功	ゼミナール	〔欧米経済史〕	42
下斗米秀之	ゼミナール	〔アメリカ経済史〕	43
赤津正彦	ゼミナール	〔経済史〕	44
日向祥子	ゼミナール	〔日本経済史〕	45

政策部門

齋藤雅己	ゼミナール	〔経済政策〕	46
宮崎イキサン	ゼミナール	〔国際経済政策〕	47
藤永修一	ゼミナール	〔国際経済政策〕	48

藤本 穰彦	ゼミナール	〔食料経済学〕	49
末永 啓一郎	ゼミナール	〔開発経済学・経済発展論〕	50
小野島 真	ゼミナール	〔財政政策〕	51
加藤 久和	ゼミナール	〔社会保障論・公共経済学〕	52
原 ひろみ	ゼミナール	〔労働経済学〕	53

国際文化関係

池田 功	ゼミナール	〔日本文化研究〕	54
富澤 成實	ゼミナール	〔日本文化研究〕	55
植田 麦	ゼミナール	〔日本文化研究〕	56
ネルソン・リンジー R	ゼミナール	〔日本文化研究〕	57
羽根 次郎	ゼミナール	〔アジア文化研究〕	58
田村 久男	ゼミナール	〔ヨーロッパ文化研究〕	59
中村 幸一	ゼミナール	〔ヨーロッパ文化研究〕	60
佐原 徹哉	ゼミナール	〔ヨーロッパ文化研究〕	61
仮屋 浩子	ゼミナール	〔ヨーロッパ文化研究〕	62
内田 兆史	ゼミナール	〔連環地域文化研究〕	63
前田 更子	ゼミナール	〔ヨーロッパ文化研究〕	64
柴崎 文一	ゼミナール	〔連環地域文化研究〕	65
ヨーク・ジェームズ	ゼミナール	〔遊戯文化論〕	66
虎岩 直子	ゼミナール	〔イギリス文化研究〕	67
永江 敦	ゼミナール	〔イギリス文化研究〕	68
石山 徳子	ゼミナール	〔アメリカ文化研究〕	69
廣部 泉	ゼミナール	〔アメリカ文化研究〕	70
ジョージ・ジョニー E	ゼミナール	〔アメリカ文化研究〕	71
海野 素央	ゼミナール	〔異文化ビジネス論・異文化間コミュニケーション論〕	72
高峰 修	ゼミナール	〔スポーツ文化研究〕	73
後藤 光将	ゼミナール	〔スポーツ文化研究〕	74
山岸 智子	ゼミナール	〔西アジア地域研究と文化理論〕	75

参 考

専門演習学習計画書	76
-----------	----

2024年度 政治経済学部専門演習要項

発行日 2023年10月18日

発行 明治大学政治経済学部
(駿河台キャンパス)

東京都千代田区神田駿河台1-1
(和泉キャンパス)

東京都杉並区永福1-9-1

印刷・製本 京成社

東京都千代田区神田小川町2-10-13